

ハケ岳・赤岳登山報告

日程：2016年3月11-12日

メンバー：3名 A(73歳),T(72歳),N(76歳、L) いずれも男性

AとNが年末に行者小屋に露營し、赤岳を地藏尾根から文三郎道へと周回する計画が、Nの体調不良で延期されていた。今回メンバーにTが加わり、実行日を3月9日から15日の間の好天の日、宿泊を赤岳鉱泉として計画された。

Yahoo、てんきとくらすの予報から11日~12日と決定し、最後はヤマテンの予報で確認し、好天の下の山行となった。サンデー毎日の高齢者にしか許されない贅沢な山行計画である。

3月11日 曇り

八王子に集合し、T車で8時発。小雨が曇りに代わり、雪になる。これも甲府盆地に入ると止み、西の方は明るい。天気は回復しつつある。ただし、山は見えない。ハケ岳PAで明日の朝食・行動食を求め、昨日までは夏道だった林道を一気に美濃戸まで入る。ほとんど駐車がない。昼食を摂り、11:10(GPS標高1696m、以下、同じ) 発。青空も見え、新雪が美しい。15cm程度の積雪深であるが、赤岳鉱泉の車の轍を辿る。林道を離れると、雪は深くなる。アイスキャンディが見え、13:50(2214) 赤岳鉱泉にチェックイン。1泊夕食付で8500円、お湯1瓶100円。談話室で持参の飲み物を飲み、脚が冷えてきたところでストーブの周りに移動。混んでいない。18時夕食、19時就床



12日 晴れ・曇り

4時過ぎに起床。談話室に移動し、朝食を摂り、準備。

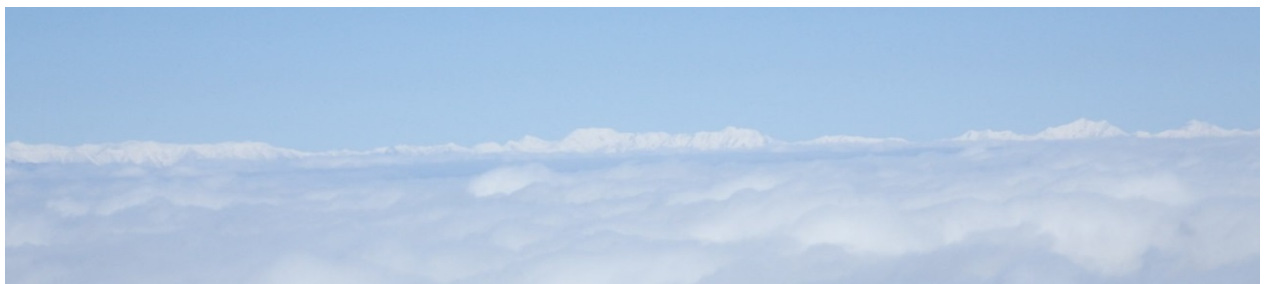
5時半発、星が出ている。何組かに道を譲り、6:25(2367) 行者小屋

地藏尾根は今朝はまだ踏まれていないが、すぐ3人組が追い抜き、ステップを印してくれ、助かる。暫くすると北アルプスが長い一直線で見える。



雪は少なく、例年慎重にトラバースする雪壁も形成されていない。風も強くない。

8時30分(2733) 地藏の頭



山梨側はガスっている。

阿弥陀がでかい。



文三郎から赤岳を周回したと思われる単独行者が、トレスの消えている横岳に向かう。

1人+3人のトレスを追い、赤岳へ。頂上近くで数組が降りてくる。

10時(2899) 赤岳



南アも見える。



頂上直下の降りには雪はほとんどない。道を慎重に探す。

トラバースに移ると、新雪が深く、歩きにくい。登りに文三郎道を探った人は苦勞したのではないか。途中でストックに替えたが、よく雪に嵌った。

11時40分 行者小屋 この素晴らしい眺めをこれから何度仰ぎ見ることができるのだろう。



昼食を摂り、降り道は氷結しているとの情報で、アイゼンを着けたまま
12時発 たくさんの登山者が、重い荷で登ってくる。最後の1/3はやはり氷結していた。
2時 美濃戸 着
5時 出発点に戻り、好天の下の山行に満足し、Tさんの運転に感謝し、解散。



(記録 N)